

－ 山羊の病気と衛生対策 －



沖縄県中央家畜保健衛生所

病気にはどうしてなるのか？

★強毒の病原体に感染する。

★免疫力(抵抗力)が弱くなる。

病原体はどこから来るのか？

★他の農場から持ち込まれる。

★すでに農場内・山羊にいる。

病気を防ぐ

秘訣

その1: 農場へ病原体を入れない
その2: 健康に育てる

実践

農場へ病原体を入れない

● 是非実践！ ● なるべく実践！ ● できれば実践！

1. 他人に持ち込ませない

- 立入禁止の札をする
- ロープを張る
- カギをかける
- 石灰を散布する



2. 自分が持ち込まない

(他の農場、セリ市場、共進会から帰る時)

- 長靴を替える(消毒)
- 帽子、作業着を替える
- 車の洗車、消毒をする



3. 山羊に持ち込ませない

(山羊を買うとき、買ってきたら)

- 健康状態をよく観察する
- すぐに農場の山羊と一緒にしない



実践

健康に育てる

● 是非実践！ ● なるべく実践！ ● できれば実践！

1. ストレスをかけない

- 畜舎はジメジメさせない
- 畜舎は熱をこもらせない
- エサは良質なものを十分に
- 削蹄、除角する

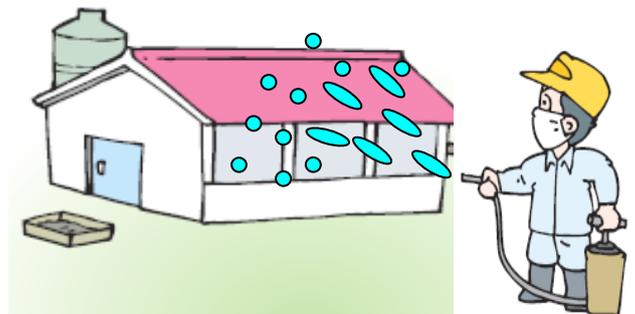
2. 駆虫する

- お産前後(春先)
- 山羊を買ってきた時
- できれば秋にも



3. 畜舎の消毒をする

- お産前までに
- 離乳した子山羊のところはこまめに
- 水洗い→乾燥→消毒薬



監視伝染病とは

獣医師あるいは家畜の所有者が病気を発見した時、家畜保健衛生所に届出を行う必要のある病気。

家畜伝染病予防法で定められる家畜伝染病（いわゆる法定伝染病）と届出伝染病の総称です。

(1) 法定伝染病（山羊）

1. 口蹄疫 (2010宮崎県で発生)
2. 炭疽
3. 出血性敗血症
4. ブルセラ病
5. 結核病
6. ヨーネ病
7. 伝達性海綿状脳症
8. 流行性脳炎
9. 牛疫
10. 狂犬病
11. リフトバレー病

(2) 届出伝染病（山羊）

1. ブルータング
2. アカバネ病
3. チュウザン病
4. 気腫疽
5. 類鼻疽
6. 伝染性膿疱性皮膚炎
7. 伝染性無乳症
8. トキソプラズマ病
9. 山羊関節炎・脳脊髄炎
10. 山羊伝染性胸膜肺炎
11. 山羊痘
12. ナイロビ羊病
13. 小反芻獣疫

* 緑字：沖縄で発生があった病気、下線：牛で発生あり

監視伝染病あるいはその疑いがあるときは、家畜保健衛生所に連絡しましょう。

法定伝染病

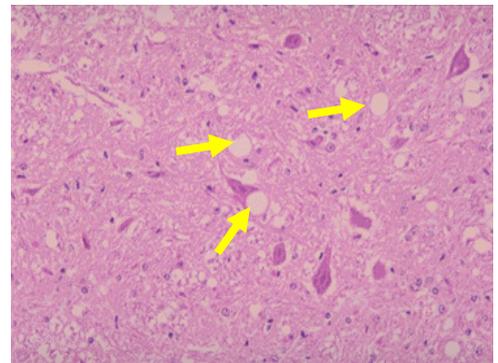
口蹄疫

原因：口蹄疫ウイルス
症状：口周囲や蹄、乳頭に水疱を形成
* 山羊は判りにくい
対策：患畜及び接触動物の殺処分



伝達性海綿状脳症 (TSE)

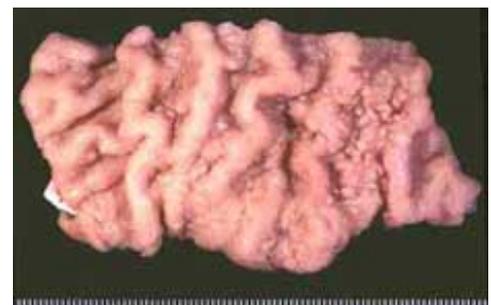
原因：異常プリオン
(蛋白質の一種)
症状：運動失調、沈うつ、
掻痒 (かゆがり)
* と畜する際必ず検査実施。



矢印：異常箇所 (空胞)

ヨーネ病

原因：ヨーネ菌
症状：長期間、頑固な下痢



肥厚した腸管

届出伝染病

伝染性膿疱性皮膚炎

原因：パラポックスウイルス
症状：口唇、鼻に丘疹、膿瘍（うみ）が多発



伝染性無乳症

原因：マイコプラズマ
症状：雌山羊 乳房炎
子山羊 肺炎
関節炎



山羊関節炎・脳脊髄炎 (CAE)

原因：CAEウイルス
症状：成山羊：関節炎
子山羊：脳炎、肺炎
*関節炎の発症率は低い



一般疾病(寄生虫)

捻転胃虫症

原因：捻転胃虫が第4胃で
多数寄生し吸血する
症状：貧血、下痢、やせる



コクシジウム病

原因：コクシジウム原虫が
が増えて腸粘膜を壊す
症状：下痢（ひどいと血便）
*子山羊の時期が症状重い



腰麻痺

原因：牛に寄生する指状糸状虫が脳脊髄に入る。
（*蚊が牛→山羊へ感染させる）
症状：腰～後肢の麻痺(典型例) など
対策：牛舎の近くで飼わない
駆虫剤の投与、蚊の防除

主な植物中毒

キョウチクトウ、モロヘイヤ、フクジュソウ



有毒物質: 強心配糖体
症状: 痙痛、下痢、食欲不振、
頻脈等の心臓症状

レンゲツツジ、アセビ、ハナヒリノキ



有毒物質: グラヤノキシン
症状: 嘔吐、泡沫性流涎、
四肢開張、腹部膨満など

センダン



有毒物質: メリアトキシン
症状: 食欲不振、嘔吐、下痢、
便秘、興奮、けいれんなど

主な植物中毒

カタバミ、ギシギシ



有毒物質：可溶性シュウ酸
症状：流涎（よだれ）、胃腸炎、
重度の下痢、筋肉の振
せん、瞳孔散大など

オトギリソウ、ソバ



有毒物質：光感受性物質
症状：無毛部の皮膚炎（ただ
れ）

ソテツ



有毒物質：サイカシン
症状：後駆の運動失調（牛）

注意が必要なその他の中毒

エンドファイト中毒



原因：輸入イタリアンライグラスに含まれるカビ毒（エンドファイト毒素）。

症状：起立不能、頭頸部・四肢の痙攣等

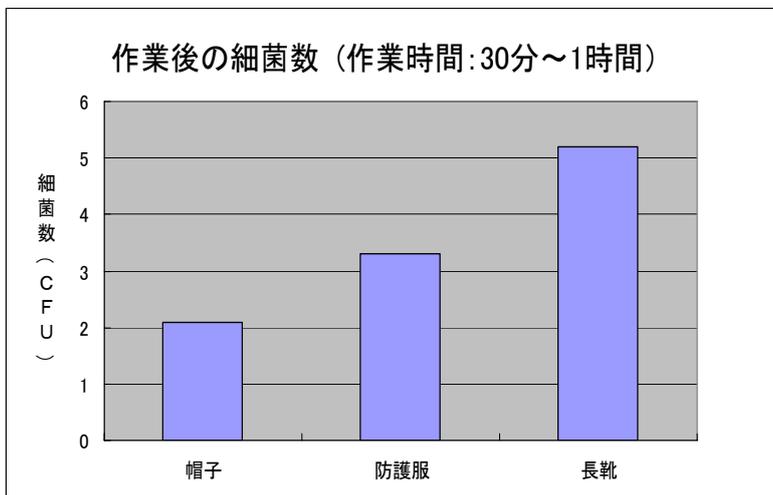
対策：カビ毒を多量に摂取した場合に起きるので、他のエサと混ぜて給与する。

*沖縄でも牛での発生あり。

消毒の必要性

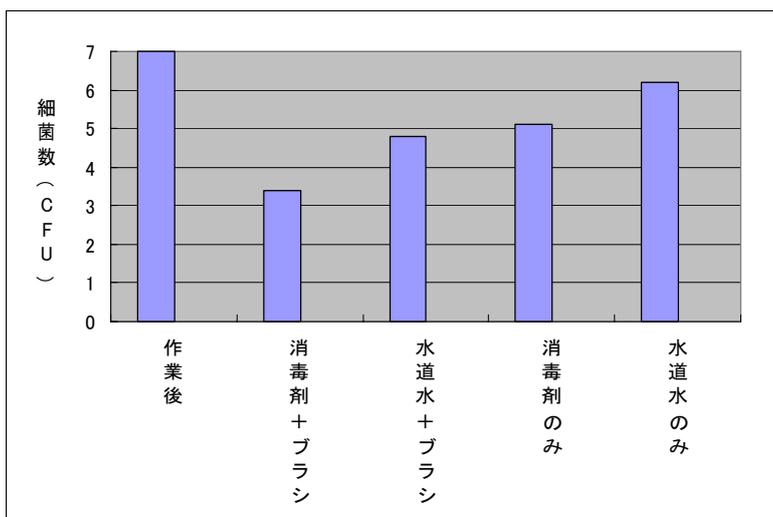
なぜ消毒は必要？

ウイルスや細菌などの病原体を侵入・増殖を防ぐ手段です。



○身に着けているものも汚れていく(菌が増える)

→着替え・洗濯(消毒)は必要です。



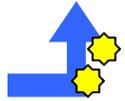
○靴底の消毒

消毒槽に踏み込むだけよりブラシを使うと効果的！

消毒の仕方(その1)

畜舎入口・踏込み消毒槽

糞、泥をブラシできれいに落とすと効果アップ



- 一般消毒薬
決められた濃度にして消毒槽で使う
- 1～10% 消石灰乳剤 (口蹄疫対策)



※消石灰は強アルカリ性
ですので吸い込んだり、
目に入ったりしないよう防
塵メガネ、マスク、手袋を
着用して下さい。

消石灰0.1～1kg + 水10リットル



※1週間程度を目安に 交換して下さい

長靴が十分
浸かるよう
に!

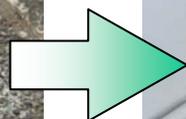
消毒の仕方(その2)

長靴

- * 消毒前に糞、泥をタワシなどで落とす
 - * できるだけ2足用意→①農場用と外出用に分ける
②毎日交互に使用する
- ・クルマの乗り降り時には手動噴霧器を利用する



- ・1日の作業終了後は洗い→消毒→乾燥がベスト



消毒の仕方(その3)

車両(クルマ)

□ 外側 : 手動噴霧器を用いた消毒

- ・タイヤ回りは念入りに！
- ・特に糞などが付着しやすい部分(荷台など)を重点的に！



□ 内側 : 霧吹きを用いた消毒

○ ハンドルなど

- ・消毒薬を霧吹きしたり、布などに浸し拭き取りましょう！

○ マット

- ・直接靴底が触れるため、スプレー等で消毒して乗車！
- ・定期的に車外に出し清掃・天日干し等を心がけましょう！



参 考

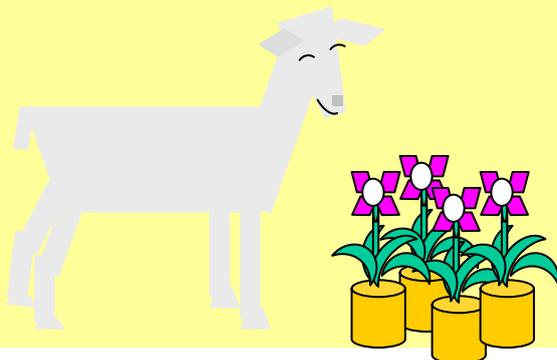
口蹄疫ウイルスに有効な消毒薬

分類	製剤名	効果のある希釈倍数
塩素系	アンテック ビルコンS	2,000倍
	クレンテ	2,000倍
	スミクロール	1,000倍
ヨウ素系	バイオシッド	1,000倍
	リンドレス	1,000倍
	クリンナップA	400倍
	ファインホール	400倍
アルデヒド系	グルタクリーン	800倍
	ヘルミン	800倍
その他	クリアキルー100 (0.1% 苛性ソーダ添加)	2,000倍
	消石灰	
	炭酸ソーダ	4%

山羊の気持ちになって

『じょうとぅ〜!』な

山羊を育てましょう



異常を発見したら

- いつから？
- どんな症状？
- 2、3週間前から当日まで変わったことは？
エサ、山羊の導入、暑さ・寒さ・湿気などの環境
- 一緒にいる山羊は大丈夫？
- 他に何か気づいたことは？

連絡・相談して下さい

病気の検査、消毒などの衛生管理は

中央家畜保健衛生所

南城市大里字大里2505 Tel : 098 - 945 - 2297

病気の治療は

(1) 農業共済組合・家畜診療所

・中央家畜診療所

Tel: 098 - 945 - 1027

・中央診療所中部支所

Tel: 098 - 965 - 5661

(2) 開業獣医師